

エコアクション21 環境活動レポート

2016



【活動期間：2016年6月1日～2017年3月31日】

桜の木々と吾妻小富士の雪うさぎ



発行日：2017年4月28日

日東産業株式会社

〒960-8253 福島県福島市泉字道下15

TEL:024-553-5375 FAX:024-556-0418

E-mail:info@nitto-sanngyo.co.jp

目次

1. 環境方針	1頁
2. 組織の概要	2頁
3. 取組み対象範囲と対象活動	2頁
4. 取組対象期間	2頁
5. 環境目標	3～5頁
6. 環境活動計画	6～7頁
7. 環境活動の実績と評価	8～12頁
8. 環境活動計画の取組と評価	13～15頁
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無	16頁
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	16頁
11. 保有許可一覧	17頁
12. 所有車両一覧	18頁
13. 受託した産業廃棄物の収集運搬料	19頁
14. 行動規範等	20頁

1. 環境方針

日東産業株式会社

環境方針

【環境理念】

お客様を第一に地域生活のトータルな安全衛生作りと地域と共に発展するとの経営理念のもと、企業活動と自然環境の調和を図りながら、社員一人ひとりが、地域のみなさまと連携して環境の保全と向上に努めます。

【行動指針】

- 1、 環境関連法規の遵守
事業活動に関わる環境関連法規、条例、協定などを遵守します。
- 2、 資源・エネルギー及び廃棄物の抑制
省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物の減量化など積極的に取組ます。特に次の3項目について重点的に推進します。
 - a) ,地球温暖化防止の為、二酸化炭素の削減に取り組めます。
 - b) ,廃棄物処理業者として、環境への負担を低減させる為に、廃棄物の適正処理及び削減に取り組めます。
 - c) ,水資源の有効活用の為、節水に取り組めます。
- 3、 環境汚染予防と再資源化の推進
省資源・省エネルギー及び廃棄物の抑制を実現する為の環境マネジメントシステムを確立し、環境改善の目的・目標を明らかにして継続的改善に取り組めます。
- 4、 会社全員参加による環境保全活動の実施
社員に対する環境教育を充実させ、環境保全意識の向上を図るとともに、地域になくはない事業所として環境保全活動に積極的に参画し、地域社会に貢献してまいります。

2. 組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者名

■ 日東産業株式会社 ■ 代表取締役 占部 恵太

2-2. 事業の概要

■ 一般廃棄物収集運搬(し尿、ごみ) ■ 産業廃棄物収集運搬業
 ■ 特別管理産業廃棄物収集運搬業 ■ 浄化槽清掃業 ■ 浄化槽保守点検業
 ■ 浄化槽工事業 ■ 下水道管更生業

2-3. 所在地と連絡先(担当者)

■ 住 所:〒960-8253 福島県福島市泉字道下15
 (連絡先:TEL024-557-5375 FAX024-556-0418 Email:info@nitto-sangyo.co.jp)

■ 担当者:環境管理責任者 菅野 三千秋

2-4. 事業規模

■ 創業:昭和 39 年 7 月 1 日 ■ 資本金:1,050万円
 ■ 敷地面積:2842.97㎡ ■ 事業所の述べ床面積:877.82㎡
 ■ 売上高と総従業員数:

事業年度	2014年 (2014.4～2015.3)	2015年 (2015.4～2016.3)	2016年 (2016.6～2016.8)
売上金額(百万円)	1,024	1,158	1,200
総従業員数(人)	89	100	102

注:売上金額は、当社会計年度(当年4月～翌年3月まで)による。

注:H28年度認証範囲従業員数は76名とする。

3. 取組の対象範囲と対象活動

3-1. 認証の対象範囲

■ 全組織(上記事業内容)

3-2. 認証の対象活動

■ 全活動(上記事業内容)

※日東産業株式会社組織内の福島医科大学(12名)、あらかわクリーンセンター(飛灰:7名)(清協:4名)、金沢処分場(2名)は請負業務ではあるが、相手組織の業務の一部を請負うものとなっている。よって、相手組織への常勤となっている為、日東産業株式会社の環境マネジメントシステムの構成員数には含まないものとする。また、砕石場においては、現在では稼動してはなく、1名が管理のみとなり、環境負荷は極めて小さいことから、砕石場も構成員には含まないものとする。

4. 取組対象期間

4-1. 環境活動レポートの対象取組期間

■ 平成 28 年 6 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

5. 環境目標

5-1. 環境目標項目の選定

環境負荷の自己チェックと環境への取組の自己チェック、ならびに環境方針との整合性を図り、次の6項目について、環境目標を設定しました。

- ①二酸化炭素排出量
- ②廃棄物排出量
- ③総排水量(水使用量)
- ④グリーン購入
- ⑤自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境配慮
- ⑥社会貢献活動

5-2. 主な環境負荷の実績

2015年度(H27.4～H28.3)当社における主な環境負荷の実績は下表に示す通りです。

二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)			廃棄物排出量(kg)		総排水量(m ³) (水使用量) ※2
電力(係数:0.556) ※1	灯油 LPG	ガソリン 軽油	一般 廃棄物	産業 廃棄物	
59,017	2,497	483,088	データなし	3,006	1,576

※1…購入電力の二酸化炭素排出係数は0.556(2015年度:東北電力)を使用。

※2…総排水量・水使用量の項目で、地下水は主に浄化槽清掃後の水張り作業に利用しております。よって削減することは難しい為、地下水については使用量を把握し、有効活用の実施をしていきます。上記のことから総排水は水使用量と等しいものと致します。

5-3. 環境目標(短期・中長期目標)

二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量の必須3項目ならびに自主設定項目項目について、単年度目標ならびに中長期目標を下記のように設定しました。

	単年度目標	中長期目標		
	平成28年度 (H28.6～H29.3)	平成29年度 (4月～3月)	平成30年度 (4月～3月)	平成31年度 (4月～3月)
二酸化炭素 排出量	平成27年度同期比 1%削減	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 2%削減	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 3%削減	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 4%削減
一般廃棄物 排出量	現状把握	平成28年度比 (H28.4～H29.3) 1%削減	平成28年度比 (H28.4～H29.3) 2%削減	平成28年度比 (H28.4～H29.3) 3%削減
産業廃棄物 排出量	平成27年度同期比 1%削減	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 2%削減	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 3%削減	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 4%削減
総排水量 (水使用量)	平成27年度同期比 3%削減及び 地下水の有効活用	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 6%削減及び 地下水の有効活用	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 9%削減及び 地下水の有効活用	平成27年度比 (H27.4～H28.3) 12%削減及び 地下水の有効活用
グリーン 購入	グリーン購入率 60%以上	グリーン購入率 70%以上維持	グリーン購入率 75%以上維持	グリーン購入率 80%以上維持
自らが生産・販 売・提供する 製品及びサー ビスについて の 環境配慮	エコドライブによる 燃料削減 現状把握	平成28年度比 (H28.4～H29.3) 1%削減	平成28年度比 (H28.4～H29.3) 2%削減	平成28年度比 (H28.4～H29.3) 3%削減
地域貢献 活動	清掃活動 3回／年以上	清掃活動 3回／年以上	清掃活動 3回／年以上	清掃活動 3回／年以上

※1…総排水量・水使用量の項目で、地下水は主に浄化槽清掃後の水張り作業に利用しております。よって削減することは難しい為、地下水については使用量の把握し、有効活用の実施をしていきます。上記のことから総排水は水使用量と等しいものと致します。

5-4. 2016年度（取組対象期間）環境目標値

5-2. の考え方に従って、2015年度実績値を基に、2016年度（H28.6～H29.3）の具体的目標値（暫定）に下記のように算出しました。

	2015年度実績 (H27.6～H28.3)	2016年度目標 (H28.6～H29.3)
■二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	453,930	449,392 (-1%)
1) 電力(kg-CO ₂)	50,215	49,713 (-1%)
2) 灯油・LPG(kg-CO ₂)	2,124	2,103 (-1%)
3) ガソリン・軽油(kg-CO ₂)	401,591	397,575 (-1%)
■廃棄物排出量(kg) (一般廃棄物＋産業廃棄物)	・データ把握中	・分別の徹底と現状把握
1) 一般廃棄物(kg)	・データ把握中	6,453
2) 産業廃棄物(kg)	4,815	4,767 (-1%)
■総排水量(水使用量)(m ³)	1,282	1,244 (-3%)
1) 上水(m ³)	1,282	1,244 (-3%)
2) 地下水(m ³)※1	3210	・使用量把握と有効的活用
■グリーン購入(%)	・データ把握中	・グリーン購入率 60%以上
■自ら生産・販売・提供する商品 及びサービスについての 環境配慮	・エコドライブによる燃料削減 データ把握中	・エコドライブによる 燃料削減の現状把握
■地域社会貢献活動	・清掃活動の実施 2回	・清掃活動の実施 3回

※1…総排水量・水使用量の項目で、地下水は主に浄化槽清掃後の水張り作業に利用しております。よって削減することは難しい為、地下水については使用量の把握し、有効活用の実施をしていきます。上記のことから総排水は水使用量と等しいものと致します。

6. 主な環境活動計画

6-1. 二酸化炭素排出量の削減

①電力使用量の削減

- 室内温度は、冷房時26℃、暖房時は22℃の設定とする。
- こまめに不要照明の消灯を行う。
- OA機器等のエコモードによる電力の削減。



②ガソリン軽油使用量の削減

- アイドリング時間の削減。
- 急発進・急加速をしないようにする。
- 必要ないものは車内に置かない。(軽量化)
- 法定速度を遵守する。
- タイヤの空気圧を定期的にチェックする。(偶数月)



6-2. 廃棄物排出量の削減

①一般廃棄物

- 廃棄物の分別の徹底。
- 廃棄物置場の整理整頓の徹底。
- 備品等を大切にしようする。
- 必要ない用紙の裏面をメモ用紙にして再利用する。
- 可能なものは両面印刷にする。



②産業廃棄物

- マニフェストをもとに産業廃棄物の適正な処理を行う。
- 産業廃棄物の適正(飛散・流出)な保管を行う。
- 油水分離槽の維持管理を適正に行う。



6-3. 水使用量の削減

- 水道使用時にはこまめに水を止めて節水をする。
- 洗車時は節水ノズルを取り付けるようにする。
- 洗濯機使用時には水量を控えめにして節水する。



6-5. グリーン購入の推進

- グリーン購入対象商品のリストアップを行う。
- グリーン購入対象商品の優先的購入。
- 再生紙のトイレトペーパーの優先的購入。



6-6. 自ら生産・販売・提供する商品及びサービスについての環境配慮

- エコサムを活用し、その結果を自己分析、勉強会を実施しながら燃料削減に努める。



6-7. 地域社会貢献活動の推進

- 地域清掃活動の実施。
- 消防団事業所として災害発生時には可能な限り協力する。



環境目標の実績と評価 (H28.4～H29.3)

対象取組期間(H28.4～H29.3)における環境目標の達成状況は下記の示すとおりでした。

	平成27年度実績 6～3月(基準年)	平成28年6月～平成29年3月			
		目標値	実績	差異	評価
■二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	453,930	平成27年度比1%削減	448,002	5,929削減 -1.3%	◎
・電気使用量(kWh) ※1	50,215	平成27年度比1%削減	51,955	1,740増加 +3.5%	×
・LPG(m ³)	1,715	平成27年度比1%削減	1,262	454削減 -26.4%	◎
・灯油(ℓ)	409.0	平成27年度比1%削減	1,580	1,171増加 +286.3%	×
・ガソリン(ℓ)	60,031	平成27年度比1%削減	55,066	4,965削減 -8.3%	◎
・軽油(ℓ)	341,560	平成27年度比1%削減	338,139	3,421削減 -1.0%	◎
■総排水量(m ³) (水使用量)	1,282	平成27年度比3%削減	1,084	198削減 -15.4%	◎
・地下水使用量(m ³) ※2	2,680	地下水使用量の把握 及び有効活用	2,625		—
■廃棄物排出量(kg)	—	平成28年度比1%削減	9,441	—	—
・一般廃棄物排出量 (kg)	—	データ把握及び 分別の徹底	5,235	—	—
・産業廃棄物排出量 (kg)	4,815	平成27年度比1%削減	4,206	1,625削減 -33.8%	◎
■グリーン購入の推進	—	データ把握及び 対象商品の優先的購入	購入率82%	—	—
■自らが生産・販売・ 提供する製品及び サービスについての 環境配慮	—	エコドライブによる 燃料削減		—	—
■地域貢献活動の 推進	1回実施	3回実施	1回実施	実施回数 2回不足	×

【評価区分】: ◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

※1…購入電力の排出係数は0.556(2015年度:東北電力)を使用。

※2…総排水量・水使用量の項目で、地下水の使用用途は主に浄化槽清掃後の水張り作業に利用しております。よって削減することは難しい為、地下水については使用量の把握のみ実施していきます。また、上記のことから総排水は水使用量と等しいものと致します。

7-1. 二酸化炭素排出量

①全体(目標:1%削減)

2015年度実績 (kg-CO ₂)	2016年度目標 (kg-CO ₂)	2016年度実績 (kg-CO ₂)	削減量※1 (kg-CO ₂)	削減率 (%)	評価 ※2
453,930	449,391	448,002	-5,928	-1.3	◎

【コメント】…二酸化炭素排出量全体で、昨年度同期比、-1.3%削減と目標を達成することができました。下記に排出要因別の達成状況を示します。目標達成の要因として、LPG使用量、軽油使用量、ガソリン使用量の削減が大きな要因になったと考えます。

②電力使用(目標:1%削減)

2015年度実績 (kg-CO ₂)	2016年度目標 (kg-CO ₂)	2016年度実績 (kg-CO ₂)	削減量※1 (kg-CO ₂)	削減率 (%)	評価 ※2
50,215	49,713	51,955	1,740	3.5	×

【コメント】…昨年度同期比で3.5%増加になり目標を達成できませんでした。本社におけるこまめな照明の消灯、エアコン使用時における、温度設定(夏場は26℃、冬場は22℃)の徹底をしましたが、平年より寒く社員の体調管理等を考慮し冬場の設定温度を上げてしまったためだと把握しています。

③LPG使用(目標:1%削減)

2015年度実績 (kg-CO ₂)	2016年度目標 (kg-CO ₂)	2016年度実績 (kg-CO ₂)	削減量※1 (kg-CO ₂)	削減率 (%)	評価 ※2
1,715	1,698	1,262	-453	-26.4	◎

【コメント】…昨年度同期比で、-26.4%削減させ、目標を達成させることができました。前年度同期いと比較して、手洗いの際には可能な限りお湯の使用を控えたり、洗濯時にも可能な限りお湯の使用を制限したこと等が、大きく削減できた要因だと考えられます。

④灯油使用(目標:1%削減)

2015年度実績 (kg-CO ₂)	2016年度目標 (kg-CO ₂)	2016年度実績 (kg-CO ₂)	削減量※1 (kg-CO ₂)	削減率 (%)	評価 ※2
409	405	1,580	1,171	286.3	×

【コメント】…昨年度同期比で、286.3%増加になり目標が達成できませんでした。前年度より管更生課の仕事が増加し、使用量が増加したのが要因です。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

※3…評価：◎→十分達成できた、○→達成、△→昨年とほぼ同じ、×→目標未達

⑤ガソリン使用(目標:1%削減)

2015年度実績 (kg-CO ₂)	2016年度目標 (kg-CO ₂)	2016年度実績 (kg-CO ₂)	削減量※1 (kg-CO ₂)	削減率 (%)	評価 ※2
60,031	59,431	55,066	-4,965	-8.3	◎

【コメント】…昨年度同期比で、-8.3%削減させ、目標を達成できました。仕事の業種上、多くの車両が毎日稼働しているため、無駄なアイドリングをしないことへの徹底、またドライブレコーダーを導入し、エコ運転の取組の実施を行ったことが目標達成の要因と考えられます。

⑥軽油使用(目標:1%削減)

2015年度実績 (kg-CO ₂)	2016年度目標 (kg-CO ₂)	2016年度実績 (kg-CO ₂)	削減量※1 (kg-CO ₂)	削減率 (%)	評価 ※2
341,560	338,144	338,139	-3,421	-1.0	◎

【コメント】…昨年度同期比で、-2.36%削減させ、目標を達成できました。仕事の業種上、多くの車両が毎日稼働しているため、無駄なアイドリングをしないことへの徹底、またドライブレコーダー、エコサムを導入し、エコドライブの取組の実施を行ったことが目標達成の要因と考えられます。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

※3…評価：◎→十分達成できた、○→達成、△→昨年とほぼ同じ、×→目標未達

7-2. 廃棄物排出量

①一般廃棄物(目標:分別の徹底と現状把握)

H28.6月から、紙類(新聞紙、雑誌、廃コピー用紙)など大きく5種類の分別収集を開始して、データ収集を始めたところです。両面印刷の推進などを実施し、廃棄物削減に向けた取組は継続中ですが、数値目標の設定は平成29年度(H29.4～)からになります。

■紙類:段ボール類・紙類(廃コピー用紙、新聞紙、雑誌)(再資源化)

■ペットボトル・缶類:ペットボトル・缶類(再資源化)

■その他可燃ごみ:塵芥類・紙くず類・布類など(焼却処理)

対象期間内における排出量の実績値は下記のとおりです。

廃棄物の種類		処理方法		排出実績	
①紙類(新聞紙、雑誌、廃コピー用紙)(kg)		再生利用		608	
②段ボール(kg)		再生利用		379	
③缶類(kg)		再生利用		120	
④ペットボトル(kg)		再生利用		57	
⑤その他可燃物(kg)		焼却		3,124	
2015年度実績 (kg)	2016年度目標 (kg)	2016年度実績 (kg)	削減量 (kg)	削減率 (%)	評価 ※2
—	6453	4,288	—	—	—

②産業廃棄物

取組期間における産業廃棄物の排出実績は下表のとおりで、ガラスくずが8割、廃プラスチックが2割という排出率となっております。また、油水分離槽の定期的な清掃作業を他社に委託しております。法令順守の下、今後も欠かす事なく依頼していく予定です。当社が排出する産業廃棄物は、そのほとんどが作業を行ったことに生じて発生しているものではございますが、一人一人が取組を意識して、少しでも、排出量を削減できるように社員全員で取組を行って参ります。

廃棄区分		処理方法		排出実績	
①廃プラスチック(kg)		焼却		649	
②金属くず(kg)		再生利用		0	
③ガラスくず(kg)		再生利用		2539	
④汚泥(油水分離槽)(kg)		埋立		1.65	
2015年度実績 (kg)	2016年度目標 (kg)	2016年度実績 (kg)	削減量 (kg)	削減率 (%)	評価 ※2
4,815	4766.85	3189.65	1625.35	-33.8	◎

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス(増加)を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

※3…評価：◎→十分達成できた、○→達成、△→昨年とほぼ同じ、×→目標未達

7-3. 総排水・水使用量（目標：3%削減）

2015年度実績 (上水) (m ³)	2016年度目標 (上水) (m ³)	2016年度実績 (上水) (m ³)	削減量※1 (上水) (m ³)	削減率 (上水) (%)	評価 ※2
1,282	1,244	1,084	198	-15.4	◎

注)1

2015年度実績 (地下水) (m ³)	2016年度目標 (地下水) (m ³)	2016年度実績 (地下水) (m ³)	地下水使用量の把握及び 有効活用の実施	評価 ※3
2,680	地下水使用量の 把握及び有効活用	2,625	使用量を把握し、地下水を 無駄にせず活用できた	◎

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス(増加)を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

注)1…総排水量・水使用量の項目で、地下水の使用用途は主に浄化槽清掃後の水張り作業に利用しています。よって削減することは難しい為、地下水については使用量を把握し、有効活用の実施をしていきます。このことから、総排水量と水使用量は等しいものと致します。

【コメント】…昨年度同期と比べ、-15.4%削減し、目標を達成しております。車輦台数が多く洗車頻度も非常に多いことから、全5箇所の水道各所に節水ノズルを設置したり、手洗い場全箇所に節水の表示を行うなどの啓発活動の成果が表れているものと思われます。

7-4. グリーン購入の推進

2015年度実績	2016年度目標	2016年度実績	削減量※1	削減率	評価 ※3
データなし	データ把握及び 優先的購入	対象購入商品率 82%	—	—	—

【コメント】…グリーン購入については、事務用品の対象商品の購入を積極的に実施しています。また、カタログやインターネットにてグリーン購入対象商品の優先的購入を行い、今年度6月からの期間ではありますが、事務用品においてはグリーン購入対象商品購入率が約82%となっております。今後もデータの把握及び、積極的にグリーン購入の推進に努めて参ります。

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス(増加)を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

※3…評価：◎→十分達成できた、○→達成、△→昨年とほぼ同じ、×→目標未達

7-5. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境配慮

2015年度実績	2016年度目標	2016年度実績	削減量※1	削減率	評価 ※3
データなし	エコドライブによる 燃料削減	83.61	—	—	—

【コメント】…当社は今年度より、ドライブレコーダー、エコサムを導入し、各社員が実際に運転した映像やエコサムによる分析データを取上げて、運転する事にあたって燃料削減をはじめ、安全・技術・マナーの向上を目的とした、勉強会を実施しています。来年度は、エコサムの総合評価点(アイドリング時間・急発進・急減速・波状指数)メーカー推奨点数70点を基準にして、更なる燃料削減に努めて参ります。

7-6. 社会貢献活動の推進

2015年度実績	2016年度目標	2016年度実績	削減量※1	削減率	評価 ※3
1回	清掃活動の実施 3回	1回	清掃活動 1回実施	実施回数 2回不足	×

【コメント】…当社は今年度7月に本社近隣の清掃活動を実施したが、目標としていた清掃活動回数2回を達成できずに1回のみの活動となってしまいました。来年度は、早めに予定日等を決め、従業員に周知してまいります。

※1…削減量・削減率の欄において、▲印は、マイナス(増加)を示す。

※2…評価：◎→達成できた、○→削減したが目標未達、△→昨年度とほぼ同じ、×→昨年度より増加

※3…評価：◎→十分達成できた、○→達成、△→昨年とほぼ同じ、×→目標未達

8. 環境活動計画の取組と評価（H28.6～H29.3）

8-1. 環境活動計画の取組と評価

評価区分：◎…十分に取組んだ ○…ある程度取組んだ △…やや不十分 ×…不十分

取組項目		具体的活動計画	評価
二酸化炭素排出量	電力削減用量	■室内温度は冷房時26℃、暖房時22℃の設定を行う。	○
		■こまめに不要照明の消灯を行う。	○
		■OA機器等のエコモードによる電力削減。	◎
	エコドライブの削減による	■アイドリングの時間削減。	○
		■急発進、急加速をしないようにする。	○
		■必要ないものを車内に置かない。(車輛の軽量化を図る)	◎
		■法定速度を遵守する。	○
		■タイヤの空気圧をチェックする(1回／月)	×
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物	■廃棄物分別の徹底。	○
		■廃棄物置場の整理整頓。	○
		■備品を大切に使用する。	○
		■コピー数量の削減。	◎
		■必要ない用紙の裏側をメモ用紙に利用する。	◎
		■可能なものは両面印刷を実施する。	◎
	産業廃棄物	■マニフェストをもとに産業廃棄物の適正な処理を行う。	○
		■産業廃棄物の適正(飛散・流出)な保管を行う。	◎
		■油水分離槽の維持管理を適正に行う。	◎
総排水量(水使用量)の削減	■水道使用時にはこまめに水を止めて節水する。	◎	
	■洗車時は節水ノズルを取付けて使用する。	◎	
	■洗濯機使用時には水量を控えめにして節水する。	△	
	■地下水を無駄にせず、有効活用する。	○	
グリーン購入の推進	■グリーン購入対象商品のリストアップ及び優先的購入。	◎	
	■再生紙のトイレトペーパーの優先的購入。	◎	
自ら生産・販売・提供する商品及びサービスについての環境配慮		■エコドライブによる燃料削減 (ドライブレコーダー、エコサムを積極的に活用する)	◎
地域社会貢献活動の推進		■地域清掃活動の実施。	×
		■消防団事業所として災害発生時には可能な限り、協力する。	○

1. 電力使用量の削減の取組について

日東産業本社の電力使用量削減する為の、具体的な取組内容としては、3項目を実施しました。室内温度を冷房時26℃、暖房時22℃の温度設定の取組は総務課、営業を中心として、積極的に取組めました。

また、こまめに不要な照明の消灯を行う取組も、総務課、営業を中心として取組むことができました。その他の課の気付いた社員がエアコンの温度確認や、不必要時の照明の消灯を実施している姿も見受けられました。しかしながら、まだまだ徹底できるという意見もあった為に、室内温度の徹底、こまめに照明の消灯を行う取組項目の評価は○と致しました。OA機器等の節電モードによる電力削減においては、担当者に各パソコンやコピー機などの節電モードになっているか確認してもらい、実施できているとの報告受け、評価は◎と致しました。

2. エコドライブによる消費燃料の削減の取組について

アイドリング時間の削減においては、昼食時、可能な社員は本社の休憩室にて休憩するように徹底して、アイドリング時間の削減を行っています。急発進、急減速をしない、車内の軽量化を図る、法定速度の遵守の取組は、朝礼時に呼びかけて取組の徹底をしております。また今年度より、ドライブレコーダー、エコサムの導入により今後さらに取組の強化をしていきたいと考えております。

タイヤの空気圧チェックについては、全体的にあまり実施できませんでした。いつも給油を行うガソリンスタンドにて月に1回空気圧点検を行っていく予定でしたが、ガソリンスタンドの混合い状況で多く実施できなかったのが原因の一つと考えられます。来年度は、タイヤローテーション時(1/3か月)に空気圧も計るように致します。

3. 廃棄物排出量の削減

廃棄物の分別の徹底、廃棄物置場の整理整頓、備品を大切に扱うという取組については、当社のクリーンサイクル課が先頭に立ち積極的に取組めてはいますが、細かな分別の徹底がまだ足りないということから朝礼等を利用して全社員への呼びかけを強化して取組を行っていく必要性を感じました。また、総務課、営業が中心となり、コピー数量の削減、必要ない用紙の裏紙をメモ用紙に利用する、可能なものは両面印刷にするという取組は、よく実施できているので今後も維持して取組を積極的に行って参ります。

産業廃棄物におきましては、マニフェストに基づいた適正な処理、適正な保管、油水分離槽の維持管理を適正に行うという取組内容がしっかりと実施出来ていました。今後も継続的に取組んで参ります。

4. 総排水量(水使用量)の削減

総排水量(水使用量)の削減についての取組は、水道使用時は、こまめに水を止める、洗車時の節水ノズルの取付けの徹底については、全社員が徹底できて、しっかりと取組む事が出来ました。

しかしながら、洗濯機の使用については、使用中にその場を離れて、洗濯していることを忘れてしまい、その結果、水を出しっぱなしになっていることが多くありました。これに対し、今後の対策と致しましては、洗濯時は終わるまでその場を離れないようにするという対策を立てました。また、地下水を無駄にせず有効活用するという取組は、ほぼ浄化槽清掃作業の水張りにしか使用していないのでしっかりと取組むことが出来たので、今後も継続、維持して参ります。

5. グリーン購入

グリーン購入対象商品のリストアップは毎回利用している購入先のカタログを通して、グリーン購入対象商品をピックアップして、その中から購入するようにしています。よって、グリーン購入対象商品の優先的購入も徹底して取組めております。グリーン購入対象商品の購入率は現在約82%以上となっており、今後も維持して参ります。また、社内で使用するトイレットペーパーも再生紙に変更したので、これも継続的購入を

6. 自ら生産・販売・提供する商品及びサービスについての環境配慮

本年度は、ドライブレコーダー、エコサムを導入し、各自の運転状況(映像、データ)に基づいての自己によるデータ分析やエコドライブの勉強会を実施して参りました。来年度は、エコサムの総合点数(アイドリング時間・急発進・急減速・波状指数)を活用しエコドライブによる燃料削減を行えるようにして参ります。

7. 地域社会貢献活動の実施

地域社会貢献活動の実施については、本社近隣の清掃活動を実施しました。しかし、清掃を実施した範囲が会社近隣であった為、地域の清掃活動と呼ぶには少し範囲が狭すぎる、及び期間内には3回の清掃活動の予定を立てていましたが活動できたのは1回のみという理由から×という評価に致しました。対策としては、早めに予定日を決め、早めの従業員に周知して実施して参ります。

また、消防団事業者として災害発生時は協力を惜しまない取組は、より強化を図るために、災害発生時に備えて、組織の編制を構築していきたいと考えております。

8. 次年度の取組内容

取組の変更点としては、毎月の空気圧チェックを、タイヤローテーション時(1/3か月)にチェックするで、他の取組は変えずに実施して参ります。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

2016年10月24日付において、環境関連法規の遵守状況を確認しましたが、違反状態は認められませんでした。また、関係当局からの違反等の指摘や指導、あるいは、外部からの訴訟についても、創業以来一度もありません。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

10-1. 環境経営システムの有効性と評価

今年6月に取組を開始してきたが、エコアクション21の環境マネジメントシステムの理解が、まだ不十分なまま、年度が過ぎてしまった感がある。従って、現段階においては、システムが有効に機能しているとは、言い難いと思われます。環境管理責任者が変更になり分ることだらけだと思う。各責任者がサポートし全従業員にエコアクション21の取組の意義を周知徹底し、前向きに取り組んで参ります。

10-2. 環境経営システム変更の必要性

現段階で、環境方針、環境目標、システムの主要部分について、変更の必要性はないと判断しております。しかし、環境活動計画のタイヤの空気圧チェックをタイヤのローテーション時に空気圧をチェックに変更して取り組んで参ります

10-3. 次年度以降の取組の方向性

本格的に取組二年目に入り、従業員の意識が薄れてくるはずなので、薄れない様に工夫して取り組んで欲しい。

所有車輛一覧（日東産業株式会社）

- ・パッカー車14台(内、2台が計量付) ・糞尿車(バキューム車)9台(内6台が箱車)
 - ・揚泥車1台 ・高圧洗浄車1台 ・給水車1台 ・ダンプ4台
 - ・脱着装置付コンテナ専用車1台 ・4tキャブオーバー車1台 ・3tロング(幌)1台
 - ・小型貨物車1台 ・普通貨物車1台 ・保冷車(感染性貨物車)1台 ・保冷車(貨物)1台
- 計 約37台



パッカー車



糞尿車(バキューム車)



高圧洗浄車



大型ダンプ



4tキャブオーバー車



脱着装置付コンテナ専用車



3tロング(幌)



保冷車(貨物)

※平成28年8月5日現在

保有許可一覧

産業廃棄物収集運搬許可一覧					燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	木くず	紙くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	動植物性残渣	動物のふん尿
No.	都道府県市町村	許可年月日	有効期限	許可番号																	
1	福島県	H.26.12.12	H.29.7.2	第00701004874	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	宮城県	H.28.2.2	H.33.2.1	第00400004874	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○		○		○

特別管理産業廃棄物収集運搬業(感染性)許可一覧					汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物
No.	都道府県市町村	許可年月日	有効期限	許可番号					
1	福島県	H.26.12.12	H.29.7.2	第0761004874					○

一般廃棄物許可一覧					
No.	市名	許可期限	許可番号	廃棄物の種類	業務の種類
1	福島市	H.28.7.1～H.30.6.30	第13号	一般廃棄物(し尿)	収集・運搬
2	福島市	H.28.7.1～H.30.6.30	第13号	浄化槽清掃	収集・運搬
3	福島市	H.28.7.1～H.30.6.30	第14号	一般廃棄物(ごみ)	収集・運搬
4	伊達市	H.28.4.1～H.30.3.31	第27-25号	一般廃棄物	収集・運搬
5	桑折町一円	H.28.4.1～H.30.3.31	第8号	一般廃棄物	収集・運搬

その他				
No.	都道府県市町村	許可期限	許可番号	業務の種類
1	福島県	H.27.12.14～H.30.12.13	福島県知事 第 1051 号	浄化槽保守点検業
2	福島県	H.25.6.16～H.30.6.15	福島県知事(登-25) 第 1068 号	浄化槽工事業
3	福島市	H.28.4.1～H.33.3.31	第 146 号	排水設備指定工事店
4	福島県	H.25.2.16～H.31.2.15	福島県 19清 第 102 号	建築物清掃業
5	福島県	H.27.7.13～H.32.7.12	福島県知事 許可(般-27) 第 28524 号	一般建設業 (土木工事業、石工事業、しゅんせつ工事業、とび・土木工事業、ほ装工事業)

※平成28年8月5日現在

受託した廃棄物収集運搬量

2016年度(H27.4～H28.3)

一般業廃棄物			
処理方法	種類	処分方法	処理量(t)
収集運搬	汚泥(し尿)	福島市下水道処理センター	21,969
	紙類(書類等)	再生	792
	段ボール類	再生	142
	缶類	再生	420
	ペットボトル	再生	496
	その他可燃物	福島市焼却場施設	6,857
	合計		30,676

2016年度(H27.4～H28.3)

産業廃棄物			
処理方法	種類	処分方法	処理量(t)
収集運搬	アスコンがら		576.6
	コンクリートがら		871.3
	ガラスくず		234.1
	陶磁器くず		1.0
	がれき類		519.2
	感染性廃棄物		25.0
	金属くず		51.8
	混合廃棄物		254.8
	紙くず		14.5
	木くず		264.7
	繊維くず		1.2
	廃エレメント		4.9
	廃プラスチック		11.1
	汚泥		27.1
	廃タイヤ等		3.4
	燃え殻		2.1
	蛍光灯		0.02
	不燃物・ビン類		2.0
	廃石膏ボード		31.7
	ベットマット		0.07
	合計		2896.6

地域生活基盤維持



働くひとの行動規範(S.S.I)
日東産業ホールディングスグループ



S. そう かい 爽快 社員としての存在理由

身体に元気・体力がみなぎり、充実した心身をもつ事。

S. そう かい 爽快 仕事の存在理由

常に爽やかで清々しく元気あふれた気持ちで仕事をする事。

I. いさぎよいこと 潔い事 我が社の存在理由

潔い事とは、常に道に外れぬ事。

潔い事とは、心身ともに潔白である事。

潔い事とは、業務において清らかな気持ちを持つ事。

私たちは、このS.S.Iを規範として、
地域生活の安全衛生作りに一生懸命努めています。

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、本社窓口でお申し出
いただくか、下記にご連絡下さい。また、エコアクション21認証取得後は、エコアクション21中央事
務局のHP(<http://www.ea21.jp/>)でもご覧いただけます。

〒960-8253 福島県福島市泉字道下15
日東産業株式会社
TEL:024-557-5375 FAX:024-556-0418
E-mail:info@nitto-sangyo.co.jp